

立命館大学環太平洋文明研究センター第 29 回研究会

2019 年 11 月 20 日（水）18:00—19:30

立命館大学衣笠キャンパス以学館 IG405 号教室

地域コミュニティによる町景観の形成 —京都市におけるまちづくり協議会活動から—

岩田 京子

（立命館大学環太平洋文明研究センター客員協力研究員：文化人類学）



先斗町通り

地域コミュニティが市街地景観の変化をいかにして制御しようとしているのかを、現在の京都市の住民たちの語りをもとに検討します。とりわけ先斗町と嵐山の例では、観光化による移動人口の増加などを背景として他者の視点で示される地域イメージに対し、自分たちのものとしての地域のありかたを住民が共有し、話し合いの場でのコミュニケーションを通じて景観が形成されています。

立命館大学環太平洋文明研究センターは「環境と文明のあり方を根本から問い直し、環太平洋地域の災害と文明の興亡を解明する」ことを目的としてつくられた人類学、環境考古学、地理学、考古学などの研究者からなる研究組織です。定例研究会には、学生、院生、教職員、どなたでもご自由に参加できます。今後、各分野の研究者が持ち回りで発表します。どうぞふるってご参加下さい。

お問い合わせ先：環太平洋文明研究センター事務局 075-466-3335

HP：<http://www.ritsume.ac.jp/research/rcppc/>